

2026 年 5 月 21 日

各 位

マニー株式会社
取締役兼代表執行役社長 渡部 眞也

分割抜歯に使用する歯科用カーバイドバー「1559L」を発売 埋まった親知らずの抜歯を、より安全でスムーズに

マニー株式会社（以下、マニー）は、歯ぐきや骨の中に埋まった親知らず（＝埋伏智歯）の抜歯に使用される歯科用器具、「埋伏智歯分割抜歯用カーバイドバー「1559L」」を、2026 年 5 月 21 日より国内にて発売いたします。

本製品は、歯科用カーバイドバーの中でも、サージカルバー（サージカルレンジス）に分類される製品であり、親知らずを小さく分けて取り除く分割抜歯という治療に特化して設計されており、治療をより安全かつ円滑に行うことを目的に開発した製品です。



製品情報

販売名	マニーカーバイドバー
一般的名称	歯科用カーバイドバー
医療機器届出番号	09B1X00006003010

治療概要

親知らずをはじめとする抜歯は、世界中の歯科医療現場で日常的に行われている処置の一つであり、埋伏した歯の抜歯においては、歯を分割して取り除く場面も少なくありません。このような処置は、口腔内の見えにくい部位で行われることが多く、歯科医師には高い操作性と十分な安全性が求められます。こうした治療が日常的に行われているからこそ、使用する器具には、確実に安定した切削性能に加え、術者の負担軽減や患者への配慮といった点も重要な要素となります。

開発背景－分割抜歯治療における課題

従来、分割抜歯に使用される治療器具には以下のような課題が存在します。

- 器具の破折に対する不安
- 誤って歯ぐきなどの軟組織を傷つけるリスク
- 削る際の振動による不快感
- 処置時間の長時間化による患者および歯科医師の負担

マニーはこれらの医療課題解決に取り組むため、抜歯処置の安全性および快適性の向上を目指し、本製品を開発いたしました。

本製品が歯科医師の操作性を高めるとともに、患者にとっても負担の少ない抜歯治療の普及に貢献することで、歯科治療全体の質の向上に資することを期待しています。

本製品の特徴と提供価値

- 刃部構造の工夫により、高い切削効率と振動抑制を両立し、なめらかで安定した切削と処置時間の短縮に貢献
- ネック形状の見直しにより耐破折性を向上し、歯科医師が安心して使用できる耐久性を実現
- 作業部長（刃の長さ）の最適化により、歯ぐきなどの軟組織を巻き込むリスクを低減

発売地域・時期

本製品は、インドにて 2025 年 12 月より発売しており、日本では 2026 年 5 月 21 日より発売いたします。その他の国・地域についても、順次グローバルに展開を予定しています。

マニーは、世界中の皆さまの健康な歯と笑顔を守るため、今後も現場のニーズに応える製品開発を通じて、安全で質の高い歯科医療の提供に貢献してまいります。

以 上

免責事項：

本ニュースリリースは、当社の企業活動をステークホルダーの皆様にお伝えするためのものです。医療機器の情報が含まれることがありますが、これらは報道関係者、株主・投資家等の皆様を対象にした情報であり、顧客誘引や医学的アドバイスを目的とするものではありません。